８沙石集（無住）

お叱りがあるだろうかと

ひと通りではない

ある山寺の坊主、①なりけるがをしてただ一人食ひけり。よくしたためて、に置き置きａしけるを、一人ありけに食はせずして、「これは人のひつればｂ死ぬる物ぞ。」と言ひけるを、この、あはれ、食はばや食はばやと思ひけるに、坊主のひまに、棚より取りおろしけるほどに、うちこぼして、にも髪にもつけたりけり。日ごろ欲しと思ひければ、二･三杯よくよく食ひて、坊主がのを、まだりの石に打ち当てて、うちわりておきつ。坊主帰りたりければ、この児さめほろと泣く。

大切に所蔵している

さめざめと

外出している間に

ああ

大事に持って

才能

まったくひどいことはあるまいよ

十分に用心をして

「何事に泣くぞ。」と問へば、「大事の御水瓶を、あやまちにうちわりてさうらふ時に、いかなるかあらむずらむと、ｃくちをしく覚えて、命生きてもよしなしと思ひて、②『人の食へば死ぬ。』とおほせられさうらふ物を、一杯食へども死なず、二･三杯までたベてさうらへども③おほかた死なず。はては小袖につけ、髪につけてはべれども、いまだ死にさうらはず。」とぞ言ひける。（　Ａ　）は食はれて、（　Ｂ　）はわられぬ。慳貪の坊主ｄるところなし。④児の知恵ゆゆしくこそ。学問の器量も、ｅむげにはあらじかし。

（巻第八･十一）

＊語注

意味がない

＊飴…液状の水あめ。

＊小児…小さい稚児。「稚児」は寺院に召し使われる少年。

＊あまだりの石…軒先の雨の落ちる所に置く石。雨垂れで地面が掘れるのを防ぐもの。

問１　――線部①について、「慳貪」の意味として、最も適当なものを次から選び、記号を○で囲め。

ア　欲張り　　イ　無知　　ウ　意固地　　エ　狭量

問２　＝　線部ａ「し」、ｂ「死ぬる」、ｄ「得る」について、次の活用表を完成させよ。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ｄ | ｂ | ａ |  |
|  |  |  | 基本形 |
| （得） | 死 | （す） | 語幹 |
|  |  |  | 未然形 |
|  |  | し | 連用形 |
| うる | ぬる |  | 終止形 |
|  |  |  | 連体形 |
|  |  |  | 已然形 |
|  |  |  | 命令形 |

問３　＝　線部ｃの形容詞「くちをしく」、ｅの形容動詞「むげに」の活用の種類と終止形をそれぞれ答えよ。

ｃ＝〔　　　〕活用 （終止形）〔　　　　　　　〕

ｅ＝〔　　　〕活用 （終止形）〔　　　　　　　〕

問４　――線部②とは何か。文中から漢字一字で抜き出して答えよ。

〔　　　〕

問５　――線部③を現代語訳せよ。

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　〕

問６　（　）Ａ・Ｂに入ることばを文中から抜き出して答えよ。

Ａ＝〔　　　　　〕　Ｂ＝〔　　　　　〕

問７　――線部④はどんな「知恵」か。最も適当なものを次から選び、記号を○で囲め。

ア　ひそかに仲間を集めた

イ　𠮟られないで望みを達した

ウ　予想以上の成果をあげた

エ　坊主に赤恥をかかせた

【解答】

問１　ア

問２　ａ＝す／せ・〔し〕・す・する・すれ・せよ

　　　ｂ＝死ぬ／な・に・ぬ・〔ぬる〕・ぬれ・ね

　　　ｄ＝得／え・え・う・〔うる〕・うれ・えよ

問３　ｃ＝シク〔活用〕・くちをし

　　　ｅ＝ナリ〔活用〕・むげなり

問４　飴

問５　まったく（全然）死なない

問６　Ａ＝飴　Ｂ＝水瓶

問７　イ

現代語訳　　ある山寺の坊主で、欲張りであったのが、（自分の）飴を大事に持ってただ一人で食べていた。十分に用心をして、棚に置いたり出したりして（食べて）いたのを、（召し使っている）一人の小さい稚児には食べさせないで、（坊主は）「これは人が食べたら死んでしまう物だぞ。」と言っていたが、この稚児は、ああ、食べたいなあ食べたいなあと思っていたので、坊主が外出している間に、（こっそり食べようとして）棚から取っておろそうとするときに、とりこぼして、小袖にも髪にも（飴を）つけてしまった。日ごろ欲しいと思っていたので、二杯・三杯と十分に食べて、（その後）坊主が大切に所蔵している水瓶を、雨垂れの石にぶつけて、打ち割っておいた。坊主が帰ったところ、この稚児はさめざめと泣いている。

　（坊主が）「どうして泣くのか。」と尋ねると、（稚児は）「大切な御水瓶を、誤って打ち割りました時に、どんなお𠮟りがあるだろうかと、情けなく思われて、命があっても意味がないと思って、『人が食べたら死ぬ。』とおおせになられます物を（食べてみたが）、一杯食べても死にませんし、二杯・三杯まで食べましてもまったく死にません。しまいには小袖につけたり、髪につけたりしましたが、まだ死にません。」と言った。飴は食べられ、水瓶は割られてしまった。欲張りの坊主は（何も）得るところがない。稚児の知恵はひと通りではない。学問の才能も、まったくひどいことはあるまいよ。

ポイント

問５　「おほかた～ず」は、「まったく～ない」「全然～ない」の意。